



# ユーザーマニュアル

機種名：

**VIA Connect PRO**

コラボレーション ハブ

---

P/N: 2900-300419 REV1 A

日本語訳 J2

## 目次

1	イントロダクション	1
1.1	アプリケーション&機能	2
1.2	コントロールと接続	3
2	設定	4
2.1	VIA Connect PRO をディスプレイに接続する	4
2.2	VIA Connect PRO クライアントアプリをダウンロード、起動する	5
2.3	VIA Connect PRO にログインする	7
3	VIA Connect PRO の機能と動作	8
4	VIA Connect PRO の操作	10
4.1	VIA Connect PRO メインメニュー	10
4.2	管理者へのユーザー端末制御許可	11
4.3	会議参加者とのチャット	11
4.4	ファイル共有	12
4.5	クラウドデータへのアクセス	13
4.6	ホワイトボードコラボレーション	13
4.6.1	ホワイトボード機能	14
4.6.2	デスクトップを表示する	15
4.7	VIA Connect PRO 設定メニュー	16
4.7.1	LAN 設定	16
4.7.2	ルーム名/コード	17
4.7.3	構成	18
4.7.4	システム制御	19
4.7.4.1	音声	19
4.7.4.2	ディスプレイ	19
4.7.4.3	ログフォルダー	20
4.7.4.4	システムヘルス	20
4.7.4.5	起動	20
4.7.4.6	クロック	20
4.7.4.7	言語	21
4.7.5	背景	22
4.7.6	認証	23
4.7.7	Mirroring	26
4.7.8	VIA Web 管理インターフェイスから設定する	27
4.7.8.1	ネットワーク設定	27
4.7.8.2	サーバー設定	28
4.7.8.3	背景	28
4.7.8.4	構成	29
4.7.8.5	認証	31
4.7.8.6	ゲートウェイ機能 / クライアント機能	32
4.7.8.7	ゲートウェイログ / Web 管理者ログ	33
4.7.8.8	メンテナンス	35
4.8	VIA Connect PRO を使うとこんなことができます	36
5	技術仕様	38

## 目次

図 1 : VIA Connect PRO コラボレーションハブ .....	3
図 2 : VIA Connect PRO Collaboration ハブ接続 .....	4
図 3 : VIA Connect PRO Web ブラウザ初期画面 .....	5
図 4 : VIA App 画面 .....	6
図 5 : VIA Setup 画面 .....	6
図 6 : VIA Connect PRO ログイン画面 .....	7
図 7 : VIA Connect PRO メイン管理者画面 .....	8
図 8 : VIA Connect PRO ユーザー画面 .....	9
図 9 : 会議参加者リスト .....	10
図 10 : チャット画面 .....	12
図 11 : 送信側ファイル共有画面 .....	12
図 12 : 受信側ファイル共有画面 .....	12
図 13 : クラウドの共有ファイル .....	13
図 14 : ホワイトボードツールバー .....	14
図 15 : 設定画面 .....	16
図 16 : LAN 設定画面 .....	17
図 17 : ルーム名/コード画面 .....	17
図 18 : 構成画面 .....	18
図 19 : システム制御画面 .....	19
図 20 : 音声設定画面 .....	19
図 21 : ディスプレイ設定画面 .....	20
図 22 : システムヘルス画面 .....	20
図 23 : 日付と時刻設定画面 .....	21
図 24 : タイムゾーン設定画面 .....	21
図 25 : 言語設定画面 .....	22
図 26 : 背景設定画面 .....	22
図 27 : 認証設定画面 .....	23
図 28 : ユーザー追加画面 .....	24
図 29 : Moderator Mode 有効時のログイン画面 .....	25
図 30 : Mirroring 設定画面 .....	26
図 31 : VIA 管理 - ネットワーク設定 .....	27
図 32 : VIA 管理 -VIA サーバー設定 .....	28
図 33 : VIA 管理 -背景設定 .....	29
図 34 : VIA 管理 -構成設定 .....	31
図 35 : VIA 管理 - 認証設定 .....	32
図 36 : VIA 管理 - ゲートウェイ機能設定 .....	32

図 37 : VIA 管理 -クライアント機能設定.....	33
図 38 : ユーティリティ - ゲートウェイログ.....	34
図 39 : ユーティリティ - Web 管理者ログ.....	34
図 40 : ユーティリティ - メンテナンス.....	35
図 41 : Android Tablet      図 42 : iPad/iPhone.....	37
図 43 : PC(Windows/Mac).....	38

# 1 イン트로ダクション

VIA Connect PRO へようこそ！

VIA Connect PRO は、クレマーのユニークで強力なワイアレスプレゼンテーション&コラボレーションハブです。VIA はインタラクティブな会議の中で、どのようなディスプレイのどの位置にも変換します。さらに VIA は、デスクトップ PC やノート PC からタブレットやスマートフォンまで、幅広いプレゼンテーションデバイスを使用できます。

VIA Connect PRO による、会議の各参加者は、他の参加者と共に、会議資料を素早く表示して見る、編集したり、解説やコメントを加えたり、資料を共有することもできます。また参加者はミーティング中に、主スクリーンを通して、あるいは他の参加者と小さなグループで互いのアイデアを共有することができます。

VIA Connect PRO は、どのような構成の既存の IT インフラストラクチャーでも、シームレスに融合し、どのようなプロジェクターまたはスクリーンでも、ネットワーク化されたユーザーのデバイスで共有し、見ることができるように変換します。

VIA Connect PRO との全ての接続はワイアレスで行われ、 dongle、ケーブル、および他の互換機器類は不要です。

VIA Connect PRO の主要機能：

- 一般的な Wi-Fi または LAN の接続を使用してログイン、dongle は不要
- 真の HD1080p/60 ビデオストリーミング
- Windows と MAC<sup>®</sup>、iOS と Android のモバイルオペレーティングシステムに対応
- すべての普通のウェブブラウザと互換
- 最大 255 人のユーザーが同時にログイン可能
- 最大 4 画面を同時に表示可能

## 1.1 アプリケーション&機能

### ワイヤレス接続

参加メンバーは自身の機器 BYOD (Bring Your Own Device : ビーワイオーディ)でワイヤレス接続を通してセッションに参加します。 ドングル等は不要です。

### マルチメディア

スムーズなフル・モーション・ビデオ(最高 1080P/60)、MP3 ファイル、および写真を共有します。

### スタート コラボレーション

参加メンバー自身の機器から、ディスプレイに表示するためにクリックします。 各メンバーは自身のディスプレイ上の表示をコントロールすることができます。

### クラウド

ミーティングで資料を共有するときに、クラウドにファイルをドラッグ&ドロップします。

### ファイル転送

ファイルを 1 人または複数の参加メンバーと共有します。

### ホワイトボード

各参加メンバーが、ホワイトボード上に描画したり、注釈、コメント記入など、ディスプレイに表示しながら議論することが出来ます。

### コントロール権

Admin (管理者) は、各参加メンバーの機器に対する表示コントロール権を与えます。

### チャット

指定した参加メンバーにメッセージを送ります。

## 1.2 コントロールと接続

このセクションは VIA Connect PRO を説明します。

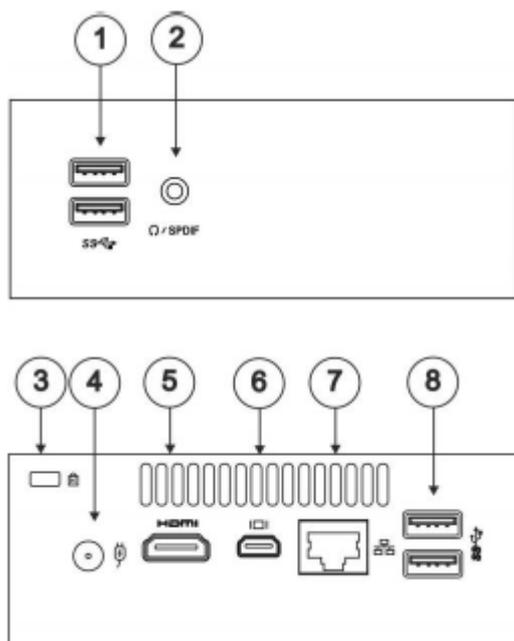


図 1 : VIA Connect PRO コラボレーションハブ

#	機能	説明
1	USB3.0 コネクタ	2 台の USB デバイスを接続することができます
2	SPDIF 3.5mm ミニジャック	イヤホン又はスピーカーを接続します
3	ロック用ホール	セキュリティロックケーブルを接続します
4	電源コネクタ	付属の 19V DC 電源を接続します
5	HDMI コネクタ	HDMI 入力のディスプレイに接続します
6	ミニディスプレイポートコネクタ	ディスプレイポート入力のディスプレイに接続します
7	LAN RJ-45 コネクタ	ワイヤレスアクセスポイントに接続します
8	USB3.0 コネクタ	2 台の USB デバイスを接続することができます

## 2 設定

注) 端末を VIA Connect Pro に接続する際は電源を切った状態で行ってください。

VIA Connect Pro を使うためには図 2 のような機器が必要です。

- ・ VIA Connect Pro Wireless Collaboration ハブ (本機)
- ・ ディスプレイ (表示したプレゼンテーション資料に注釈を追加するためにはタッチスクリーンが望ましい。)
- ・ LAN ケーブル、ワイヤレスネットワークを使う場合はワイヤレスルータ

VIA Collaboration ハブは以下の端末に対応しています。

- ・ Windows 7/8® (32-bit/64-bit) PC
- ・ Macintosh® OSX 10.6.5 以上 (推奨 10.6.8)
- ・ iPad/iPhone® (VIA Connect PRO app インストールが必要)  
(iPad2 以降、iOS5 以降、推奨 iOS6)
- ・ Android OS 3.2 タブレット/スマートフォン (VIA Connect PRO app インストールが必要)

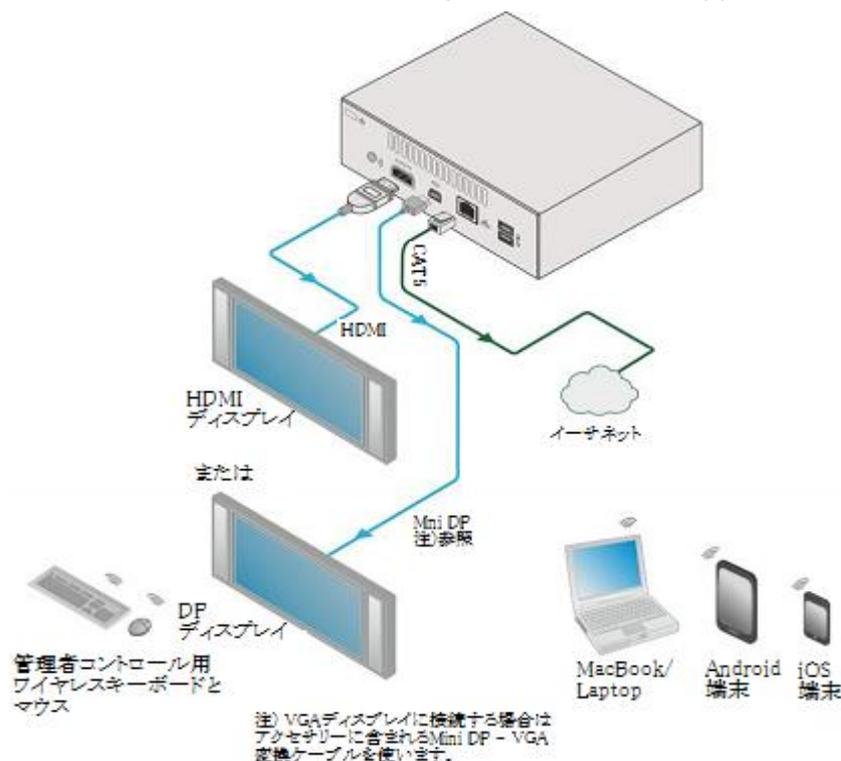


図 2 : VIA Connect PRO Collaboration ハブ接続

### 2.1 VIA Connect PRO をディスプレイに接続する

VIA Connect PRO は HDMI と mini DP コネクタを持っています。

- ・ HDMI 接続は LCD モニターなどのディスプレイとの接続に使います。HDMI 接続は音声の伝送もできます。

- Mini DP 接続は DP(Display Port)を持ったディスプレイとの接続、または VIA Connect PRO 同梱の mini DP - VGA 変換アダプタを使って VGA ディスプレイとの接続ができます。

VIA Connect PRO の内蔵ビデオカードは EDID(Extended Display Identification Data)を利用して接続されたディスプレイの最適な解像度、リフレッシュレートを自動的に設定します。

VIA Connect PRO の全機能を使うために LAN へ接続しなければなりません。VIA Connect PRO に IP アドレスを割り当ててください。

注) 機器を LAN に接続する前に電源を入れないでください。

注) VIA Connect PRO ハブと会議参加者の機器(PC、MAC、スマートフォン、タブレット)は同じネットワークセグメントに接続してください。

VIA Connect PRO ハブは会議参加者の機器から画面イメージやマルチメディアファイルを受信して、VIA Connect PRO ハブに接続されたディスプレイに表示します。

## 2.2 VIA Connect PRO クライアントアプリをダウンロード、起動する

会議参加者は VIA 実行ファイル(Windows PC、Mac)か Android/iOS app をダウンロードし、起動する必要があります。

**Windows PC、Mac 用実行ファイルにアクセスするには：**

- Web ブラウザを開き、VIA Connect PRO の IP アドレスを入力すると下記画面が表示されます。

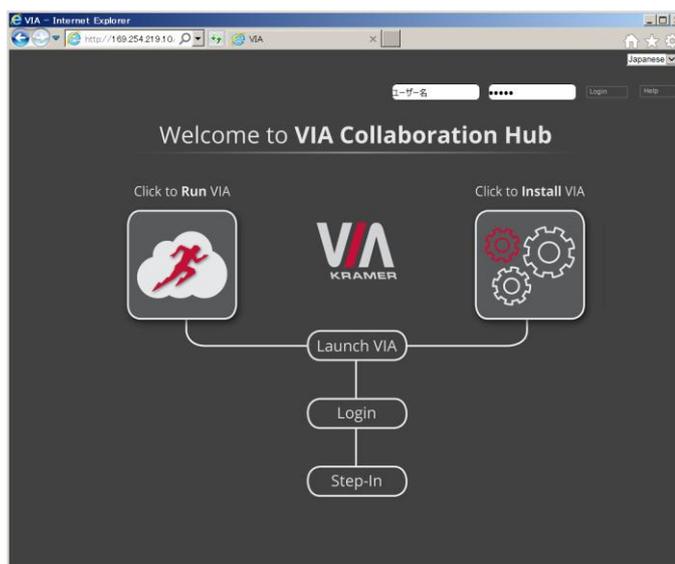


図 3 : VIA Connect PRO Web ブラウザ初期画面

- “Click to Run VIA”または“Click to Install VIA”を選択します

- ・ 保存確認ダイアログが表示されるので、[OK]ボタンを押し、ダウンロードします
- ・ ダウンロードフォルダにダウンロードされたファイルを選択し、実行します

**Macで Click to Run VIA を選択した場合：**

- ・ 下記画面が表示されるので、“VIA”を“Applications”へドラッグ&ドロップします
- ・ Application フォルダのVIA をダブルクリックして VIA Connect PRO クライアントアプリを起動します

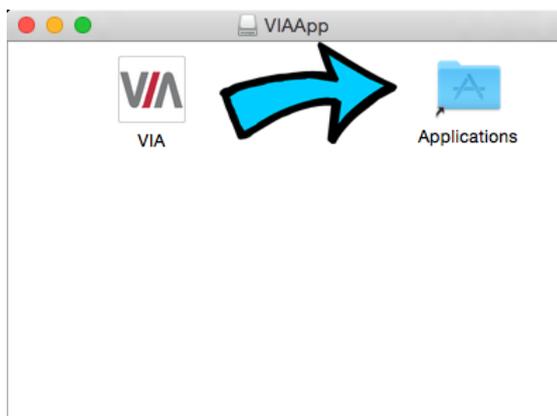


図 4 : VIA App 画面

**Macで Click to Install VIA を選択した場合：**

- ・ 下記画面が表示されるので、“VIA”を“Applications”へドラッグ&ドロップします
- ・ “VIAAudio.pkg”をダブルクリックして、オーディオドライバをインストールします
- ・ Application フォルダの“VIA”をダブルクリックして VIA Connect PRO クライアントアプリを起動します

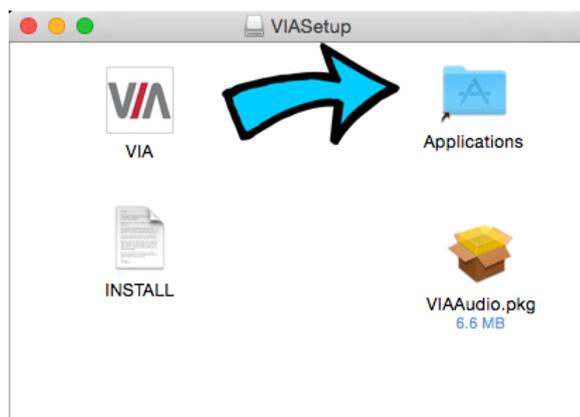


図 5 : VIA Setup 画面

注) Click to Run VIA と Click to Install VIA の両方をインストールする場合は、Application フォルダに既にある VIA を名前変更してから行ってください。

注) VIA を起動しやすくするため、Application フォルダにインストールされた VIA を Dock に追加す

ることをお勧めします。

#### Windows PC で Click to Run VIA を選択した場合：

- ・ VIAApp.exe がダウンロードフォルダへダウンロードされます
- ・ VIAApp.exe をダブルクリックして VIA クライアントアプリを起動します

注) VIAApp.exe を起動しやすくするため、ダウンロードフォルダの VIAApp.exe のショートカットをデスクトップに置くことをお勧めします。

#### Windows PC で Click to Install VIA を選択した場合：

- ・ VIASetup.exe がダウンロードフォルダへダウンロードされます
- ・ VIASetup.exe を実行すると、VIA クライアントアプリが C:¥KRAMER¥VIA にインストールされます
- ・ C:¥KRAMER¥VIA¥VIA.exe をダブルクリックして VIA クライアントアプリを起動します。

注) VIA.exe を起動しやすくするため、C:¥KRAMER¥VIA¥VIA.exe のショートカットをデスクトップに置くことをお勧めします。

タブレットやスマートフォンについては、iOS 用は App Store に、Android 用は Google Play に Kramer VIA app があります。ダウンロードしてインストールしてください。

## 2.3 VIA Connect PRO にログインする

VIA Connect PRO クライアントアプリを起動すると、下記のログイン画面が表示されます。



図 6：VIA Connect PRO ログイン画面

VIA Connect PRO にログインするには、下記項目を入力した後、[ログイン]ボタンを押します。

- ・ ルーム名を入力します。ルーム名は VIA Connect PRO に接続したメインディスプレイの左下に表示されます。
- ・ ユーザー名を入力します。ユーザー名は VIA Connect PRO Web サイトのユーザー管理で登録されたユーザー名です。

VIA Connect PRO Web の“VIA 管理” > “認証”でアクティブプレゼンテーションモードを ON にしている場合はパスワードを要求されます。

- ・ ルームコードを入力します。ルームコードはメインディスプレイの左下に表示されています。メインディスプレイに表示されていない場合は、ルームコードを入力せずに[ログイン]ボタンを押すと、メインディスプレイ右下にルームコードが表示されますので、これを入力してください。

### 3 VIA Connect PRO の機能と動作

VIA Connect PRO はゲートウェイ上で動作するメイン管理者用画面と端末で動作するユーザー用画面があります。

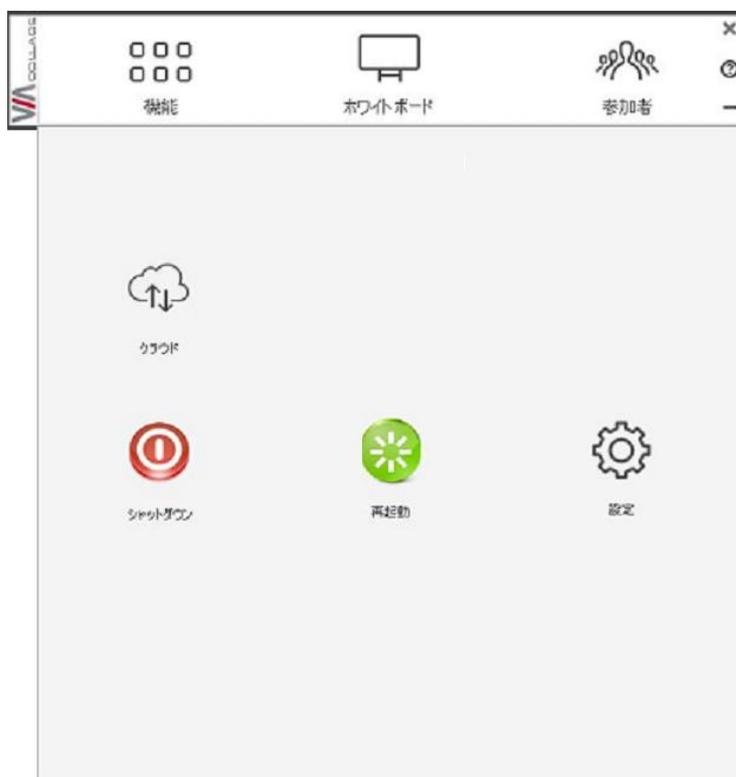


図 7 : VIA Connect PRO メイン管理者画面

機能	動作
機能	有効な機能アイコンを表示します。
ホワイトボード	メインディスプレイに注釈入力、描画、文書更新のための画面を開きます。
参加者	会議参加者のリストを表示します。
クラウド	会議参加者全員へファイル共有します。
シャットダウン	VIA Connect PRO システムをシャットダウンします。

再起動	VIA Connect PRO システムを再起動します。
設定	LAN 設定、Room Code に関する設定、システム制御設定、壁紙設定、認証設定を行います。

注) VIA Connect PRO ユニットを起動すると自動的にゲートウェイ上で動作するメイン管理者画面を起動し、メインディスプレイ左下にアイコン化します。アイコン選択するとメイン管理者画面を可視化できます。

注) VIA Connect PRO 使用中はメイン管理者画面をログアウトしないでください。



図 8 : VIA Connect PRO ユーザー画面

機能	動作
機能	有効な機能アイコンを表示します。
ステップイン / ステップアウト	会議参加者の端末画面を VIA Connect PRO メインディスプレイに表示 / 非表示します。同時に 4 端末の画面をメインディスプレイに表示できます。
参加者	会議参加者のリストを表示します。
マルチメディア	会議参加者の端末内の映像、画像を VIA Connect PRO メインディスプレイに表示します。
クラウド	会議参加者全員へファイル共有します。
コントロール権	Step-In した端末のコントロールを VIA Connect PRO メインディスプレイ上から可能にします。
ホワイトボード	メインディスプレイにホワイトボードを開きます。

ファイル転送	指定した会議参加者間でファイル共有します。
スタートコラボレーション	VIA Connect PRO メインディスプレイに表示された画面にたいして複数ユーザーで同時に制御できるようにします。
チャット	指定した会議参加者間でチャットを行います。

## 4 VIA Connect PRO の操作

この章では各ツールについて説明します。

### 4.1 VIA Connect PRO メインメニュー

VIA Connect PRO ユーザー用画面は上部に“機能”、“ステップイン/アウト”、“参加者”の3つのタブがあります。

- “機能”を選択すると有効な機能を表示します。
- “ステップイン”を選択すると自分の端末の画面を VIA Connect PRO メインディスプレイに表示します。“ステップアウト”を選択すると VIA Connect PRO メインディスプレイに表示している自分の端末の画面を消します。
- “参加者”を選択すると会議参加者リスト(図 9)を表示します。



図 9 : 会議参加者リスト

会議参加者リスト内のディスプレイコントロールはゲートウェイ上で動作するメイン管理者画面でのみ表示されます。

会議参加者リストでは下記のアイコンが使用されます：

項目	アイコン	説明
ディスプレイ 状態		メインディスプレイに資料表示できる状態
		ユーザーがメインディスプレイに資料表示中
チャット状態		会議参加者とチャット開始できる状態
		会議参加者とチャット中
ファイル転送 状態		会議参加者へファイル転送できる状態
		会議参加者へファイル転送中
制御許可		メインディスプレイからユーザー端末を制御不許可状態
		メインディスプレイからユーザー端末を制御可能状態

## 4.2 管理者へのユーザー端末制御許可

VIA Connect PRO ユーザー画面の“機能”> “コントロール権”を選択すると、管理者にメインディスプレイに表示している画面からユーザー端末(Windows、Mac)を制御できるようになります。(図9では user2 がステップインして、管理者は user2 の端末を制御許可されています。)

user2 の端末制御許可を得た管理者は、user2 の端末にある映像ファイルを再生したり、文書を開いたり、user2 と一緒に説明資料を扱うことができます。

他の会議参加者がメインディスプレイに表示された画面の端末とコラボレーションするには、“スタートコラボレーション”を選択し、マウスを上端へドラッグします。これで会議参加者名の付いたカーソルがメインディスプレイに現れます。

## 4.3 会議参加者とのチャット

管理者およびユーザーは、ユーザー間でテキストメッセージ交換のためのチャットができます。

**チャットを開始するには：**

- ・ 会議参加者リストを開き、チャット相手の“チャット”アイコンを選択します。

図10のチャット画面が表示され、選択した会議参加者とチャットできます。

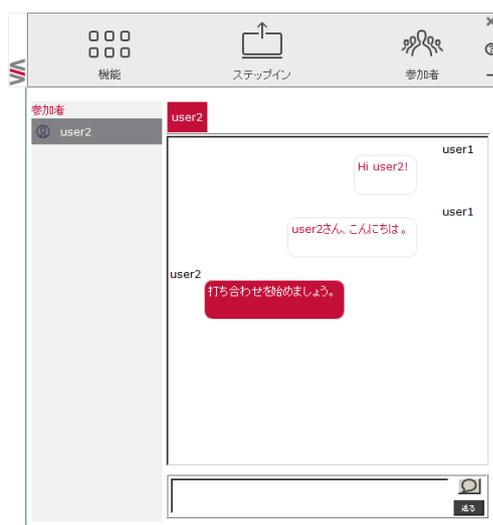


図 10 : チャット画面

チャット画面で、チャット相手の名前は画面左側に、自分のチャットメッセージは画面右側に表示されます。

ユーザーは現在有効になっているチャットを メインメニューの“機能” > “チャット”で確認できます。

#### 4.4 ファイル共有

VIA Connect PRO は PC/Mac からログインしたユーザー間でファイル共有できます。

##### ファイル共有するには :

- ・ 会議参加者リストを開き、ファイル共有したい会議参加者の“ファイル共有”アイコンを選択します。
- ・ 自端末のファイル選択画面が表示されるので、共有したいファイルを選択します。

ファイル送信側、受信側で、それぞれファイル転送進捗画面が表示されます。



図 11 : 送信側ファイル共有画面



図 12 : 受信側ファイル共有画面

受信側ファイル共有画面で[保存]ボタンを押し、ファイル保存先を指定すると、ファイル送信が開始され、指定したフォルダへファイルが保存されます。

ファイル送信中に[キャンセル]ボタンを押すと、ファイル送信を中断します。

## 4.5 クラウドデータへのアクセス

会議参加者が VIA Connect PRO ユーザー画面でクラウド機能により共有したデータに、メイン管理者画面からアクセスできます。

**クラウドデータにアクセスするには：**

- ・ 管理者用画面から“機能” > “クラウド”を選択すると、全ユーザーがクラウド機能により共有可能なしたファイルを保存したクラウドディレクトリを表示します。



図 13 : クラウドの共有ファイル

- ・ 共有アイコン[共有]を選択すると、現在 PC(Windows または Mac)からログインしている参加者全員に選択したファイルを送付できます。
- ・ 削除アイコン[削除]を選択すると、クラウドディレクトリから選択したファイルを削除します。
- ・ クラウドディレクトリ内の全ファイルを削除するには、[ディレクトリを消去]ボタンを選択します。
- ・ 削除を行う場合、警告メッセージが表示されます。

## 4.6 ホワイトボードコラボレーション

ホワイトボード機能は管理者により使用され、VIA Connect PRO メインディスプレイにホワイトボード画面を開きます。

管理者はホワイトボードで以下のことができます。

- ・ メインディスプレイ上で描画、注釈入力
- ・ 各種イメージの挿入

**管理者がホワイトボードを開くには：**

- ・ 管理者用メインメニューで“ホワイトボード”アイコンを選択します。

ユーザーは各自の端末を使って、共有文書にたいして共同作業ができます。

**ユーザーがメインディスプレイに表示されたコンテンツにコメントを加えるには：**

- ・ ユーザー用画面の“機能” > “スタートコラボレーション”を選択します
- ・ メインディスプレイにカーソルをドラッグします
- ・ ホワイトボードツールを使って注釈をします。

同時に複数ユーザーによる注釈入力やメインディスプレイの制御ができます。

#### 4.6.1 ホワイトボード機能



図 14：ホワイトボードツールバー

アイコン	動作
ペン	ホワイトボード上で線画を描きます
色	ペンの色を変更します
太さ	ペンの線の太さを変更します
消しゴム	注釈を消します
全て消す	ページを全消去します
テキスト	ホワイトボード上にテキストを入力します
フォント	テキストのフォントを変更します
ファイル共有	共有可能にしたファイルを保存したクラウドディレクトリを表示します。
注記	注釈にたいするコメント、メモを作成します
キーボード	メインディスプレイに仮想キーボードを表示します

保存	ホワイトボードをクラウドディレクトリに PDF または JPEG ファイルとして保存します。 JPEG ファイルの場合、各ページ毎に指定のファイル名+連番として保存されます。注記は JPEG ファイル名の拡張子を.txt として保存されます。
デスクトップを表示する	ホワイトボード画面を隠し、ステップインにより表示された端末画面を表示します。 ユーザーはペン機能により、表示されている端末画面に注釈を入れることができます。
Arrow	オブジェクト、イメージを選択できます
キャプチャー領域	マウスポインターが+に変わり、キャプチャしたい矩形の左上でクリックし、矩形の右下までドラッグすることで領域指定します。指定した領域はグレー表示されます。 指定した領域はホワイトボードの現在のページ、または新しいページに追加できます。
前のページ	ホワイトボードに複数ページがある場合、前のページに移動します
新しいページ	新しいページを生成します
次のページ	ホワイトボードに複数ページがある場合、次のページに移動します
閉じる	ホワイトボードを閉じます

#### 4.6.2 デスクトップを表示する

“デスクトップを表示する”はホワイトボード画面を隠し、メインディスプレイに表示された端末のデスクトップ画面を操作できるようにします。“デスクトップを表示する”で表示されるツールバーはデスクトップ画面に注釈を入れたり、オブジェクトのキャプチャする機能を提供します。たとえばデスクトップ画面のある領域をキャプチャし、ホワイトボードのページに貼り付けることができます。

アイコン	名称	動作
	ホワイトボード	ホワイトボード画面に戻ります
	ペン	デスクトップ画面に線描します
	消しゴム	デスクトップ画面への書き込みを消去します
	Arrow	オブジェクトを選択して移動します
	画面キャプチャ	画面全体をキャプチャします
	キャプチャー領域	マウスポインターが+に変わり、キャプチャしたい矩形の左上でクリックし、矩形の右下までドラッグすることで領域指定します。

	保存	現在のデスクトップイメージをクラウドディレクトリに PDF または JPEG ファイルとして保存します。
	表示/非表示	注釈の表示/非表示を切り替えます
	閉じる	ホワイトボードを終了します

## 4.7 VIA Connect PRO 設定メニュー

設定画面で VIA Connect PRO ユニットの設定を行います。

設定画面には以下のタブがあります。

- ・ LAN 設定 - ネットワークの設定を行います
- ・ ルーム名/コード - ルーム名、ルームコードを管理します
- ・ 構成 - 省電力モードの設定およびシステムログの有効化を行います
- ・ システム制御 - メインディスプレイ、音声、ログフォルダ、時計、言語の設定、およびシステム状態確認を行います
- ・ 背景 - メインディスプレイの壁紙を設定します
- ・ 認証 - Presentation Mode の有効化、および司会者、会議参加者の設定を行います
- ・ Mirroring - iOS 端末からのミラー許可、ミラー設定を行います

設定画面を開くには VIA Connect PRO ユニットに接続したキーボード、マウスを使います：

- ・ メインディスプレイ左下の VIA アイコンを選択します  
管理者権限ユーザー viaadmin でログインした状態のメインメニューが表示されます
- ・ メインメニューから“機能” > “設定”を選択します  
下記設定画面が表示されます



図 15：設定画面

設定変更後、設定を有効にするために[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットを再起動してください。

### 4.7.1 LAN 設定

VIA Connect PRO の IP アドレス、DNS、デフォルトゲートウェイの設定を行います。

注) ネットワーク設定は確実に設定してください。誤った設定をすると通信異常の原因となります。

## IP アドレスを変更するには：

- ・ 設定画面で“LAN 設定”を選択します
- ・ IP Configuration を選択します。  
Static を選択した場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを入力します。  
DHCP を選択した場合は DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられます。



図 16：LAN 設定画面

- ・ 設定が完了したら[設定を適用]ボタンを押します
- ・ 確認ダイアログが表示されたら[OK]ボタンを押します
- ・ 新しい設定を有効にするために[再起動]ボタンを押し、VIA Connect PRO ユニットを再起動します

## 4.7.2 ルーム名/コード

ルーム名の設定、およびルームコードの有効化を行います。



図 17：ルーム名/コード画面

- **ルーム名を背景に表示:** ルーム名 (通常 IP アドレス)を VIA Connect PRO のホーム画面に表示することができます。初期状態では IP アドレスを表示しますが、ローカル DNS サービスが動いている場合は DNS 名に変更することができます。ルーム名を変更するには新しい IP アドレスまたは DNS 名を入力し、[適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押し、VIA Connect PRO ユニットの再起動します。VIA Connect PRO クライアントアプリからログインする場合は端末のログイン画面のルーム名にここで設定したルーム名を入れてください。
- **ルームコードを有効化:**ルームコードはセキュリティのために生成される 4 桁のコードです。ルームコードは VIA Connect PRO ホーム画面の右下に表示されます。ルームコードを有効にした場合は、他の端末から VIA Connect PRO へログインする際にルームコードを入力しなければなりません。
- **背景に日時を表示:** 現在日時を VIA Connect PRO ホーム画面の右上に表示します。

注) VIA Connect PRO ホーム画面に表示するルーム名、ルームコード、現在日時の色を色付きの四角ボタン(例：■)で変更することができます。

### 4.7.3 構成

構成を変更するには：

- 設定画面で“構成”を選択します



図 18：構成画面

- **省電力モードを有効にする** - 端末から 15 分以上操作が行われなければスリープモードになります。
- **システムログを有効にする** - VIA Connect PRO の問題診断のため、クライアントアプリやゲートウェイの動作状態のログを有効にします。
- **クイッククライアントアクセスを有効にする** - VIA Connect PRO ホーム画面に VIA Connect PRO メインメニューを開くためのフローティングアイコンを置きます。ユーザーはこのアイコンを選択することで簡単に VIA Connect PRO メインメニューを開くことができます。

## 4.7.4 システム制御

システム制御は音声、メインディスプレイ、ログフォルダ、時計、言語の設定、および、システム状態の確認ができます。また、VIA Connect PRO ユニットの有効化設定もできます。



図 19 : システム制御画面

### 4.7.4.1. 音声

オーディオ機器との接続インターフェイスを設定します。



図 20 : 音声設定画面

### 4.7.4.2. ディスプレイ

ディスプレイの解像度、リフレッシュレートを設定できます。VIA Connect PRO の内蔵ビデオカードは EDID(Extended Display Identification Data)を利用して接続されたディスプレイの最適な解像度、リフレッシュレートを自動的に設定します。



図 21 : ディスプレイ設定画面

#### 4.7.4.3. ログフォルダー

ログフォルダーの設定は"構成"タブで"システムログを有効にする"にチェックを入れた場合にのみ有効となります。

#### 4.7.4.4. システムヘルス

[ステータスのチェック]ボタンを選択すると、システムチェックを開始し、正常であればインジケータが緑になります。異常の場合はサービスサポートへお問い合わせください。

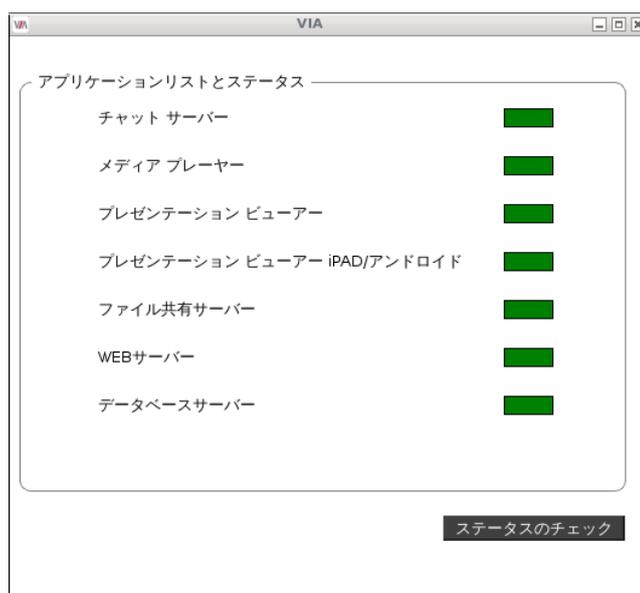


図 22 : システムヘルス画面

#### 4.7.4.5. 起動

VIA Connect PRO ユニットの有効化設定を行います。VIA Connect PRO ユニットの Kramer 社で予め有効化されています。

#### 4.7.4.6. クロック

時刻設定、および、タイムゾーンの設定をタブで切り替えて行います。

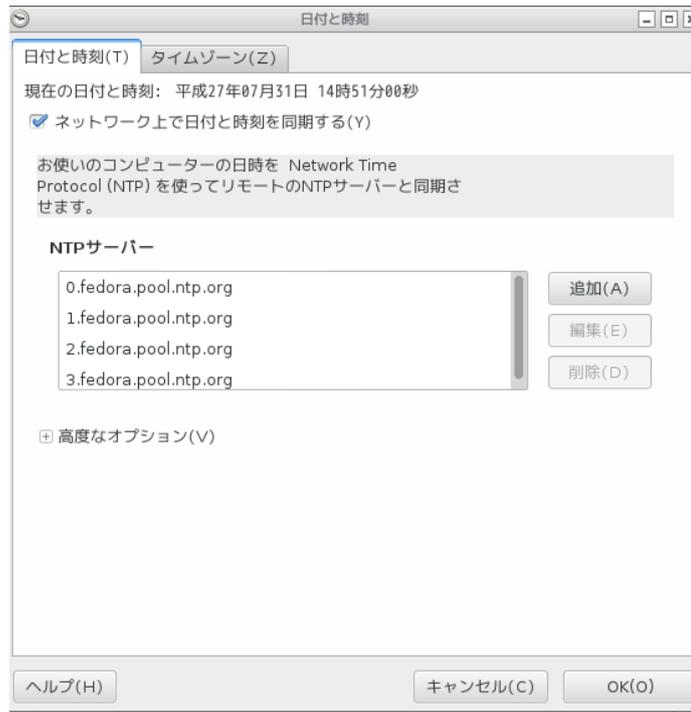


図 23 : 日付と時刻設定画面



図 24 : タイムゾーン設定画面

#### 4.7.4.7. 言語

VIA Connect PRO クライアントアプリで使う言語を設定します。



図 25 : 言語設定画面

#### 4.7.5 背景

どのような企業や組織に対しても、ブランドや機器の使用方法に合わせて既定画面を変更できます。

**壁紙を変更するには :**

- ・ “背景”を選択します



図 26 : 背景設定画面

- ・ [背景をインポート]ボタンを押します
- ・ 壁紙のイメージファイル(png フォーマット)が入った USB ドライブを接続し、OK を選択します。  
壁紙イメージファイルのアップロードが開始されます
- ・ [再起動]ボタンを押します  
再起動後、VIA Connect PRO の壁紙イメージが変わります

## 4.7.6 認証

Moderator Mode を有効にします。このモードでは会議参加者が VIA Connect PRO にステップインする際に司会者から許可をもらう必要があります。

### Moderator Mode を有効にするには：

- ・ “認証”タブを選択します
- ・ Activate Moderator Mode を選択後、[再起動]ボタンを押し、VIA Connect PRO ユニットの再起動します



図 27：認証設定画面

Moderator Mode で VIA Connect PRO クライアントアプリにログインするための既定ユーザーが2ユーザーあります。

### 司会者：

- ・ デフォルトユーザー名: su  
デフォルトパスワード: supass

### 会議参加者：

- ・ デフォルトユーザー名: user  
デフォルトパスワード: userpass

必要に応じてユーザーを追加できます。

## ユーザーを追加するには：

- Web ブラウザから VIA Connect PRO の IP アドレスを入力して VIA Connect PRO Web サイトへアクセスします
- 既定司会者(su)でログインします
- “ユーザー管理” > “ユーザー追加”を選択します
- 図 28 のように、司会者はユーザー名、パスワード、役割(司会者または参加者)を割り当てて会議参加者のデータベースを作成できます。

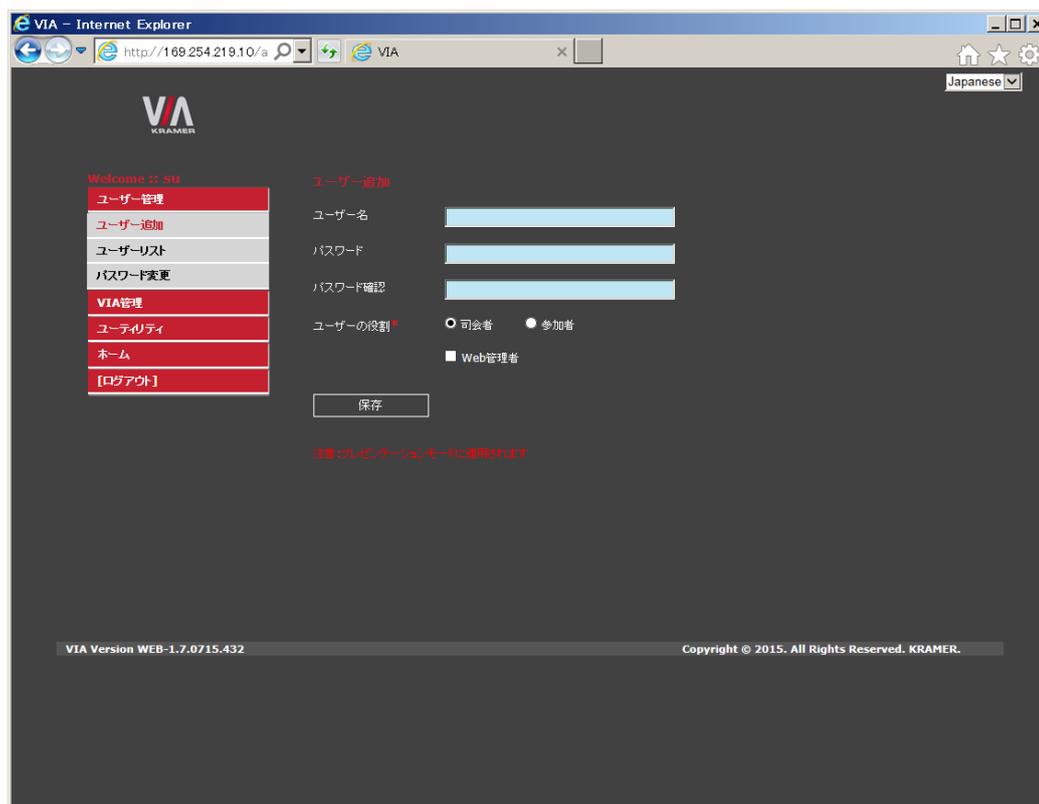


図 28：ユーザー追加画面

司会者によって作成されたユーザーは会議への参加許可を得ることができます。

Moderator Mode が有効な場合、VIA Connect PRO クライアントアプリにログインするには：

- VIA Connect PRO クライアントアプリを開き、ルーム名 (VIA Connect Pro ゲートウェイの IP アドレス)を入力します
- ユーザー名、パスワードを入力します
- ルームコードを有効にしていれば、ルームコードを入力します
- [ログイン]ボタンを押します



図 29 : Moderator Mode 有効時のログイン画面

#### プレゼンテーションを始めるには :

- ・ 会議参加者がステップインを選択すると VIA Connect PRO は司会者へ表示許可の要求を送ります。



- ・ メインディスプレイで会議参加者がプレゼンテーションを始めるために、司会者は[フルスクリーン表示を許可]ボタンを押します。これでメインディスプレイに説明資料が表示されます。

注) 司会者は許可なくいつでもステップインすることができます。

## 4.7.7 Mirroring

デフォルトでは iOS Mirroring は有効になっており、設定は図 30 のようになっています。



図 30 : Mirroring 設定画面

上部チェックボックスにより Mirroring を有効にします。

VIA AirPlay デバイスは VIA\_AirMirror\_XXXX と命名されます。(XXXX はランダムな英数字)

このデバイス名は iOS 端末で AirPlay デバイスを探した際に表示されます。

デフォルトで 4 台の iOS 端末から VIA Connect PRO へ Mirroring できます。

設定変更を行った場合は[適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニッ  
トを再起動してください。

## 4.7.8 VIA Web 管理インターフェイスから設定する

- Web ブラウザから VIA Connect PRO の IP アドレスを入力して VIA Connect PRO Web サイトへアクセスします
- 既定司会者(User Name:su、 Password:supass)でログインします
- “VIA 管理”を選択し、設定メニューにアクセスします

### 4.7.8.1. ネットワーク設定

ゲートウェイ IP(本機 IP アドレス)、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを設定します。

設定変更後は[設定を適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットの再起動してください。

この画面で Mac アドレス、ディスク空き容量の確認もできます。

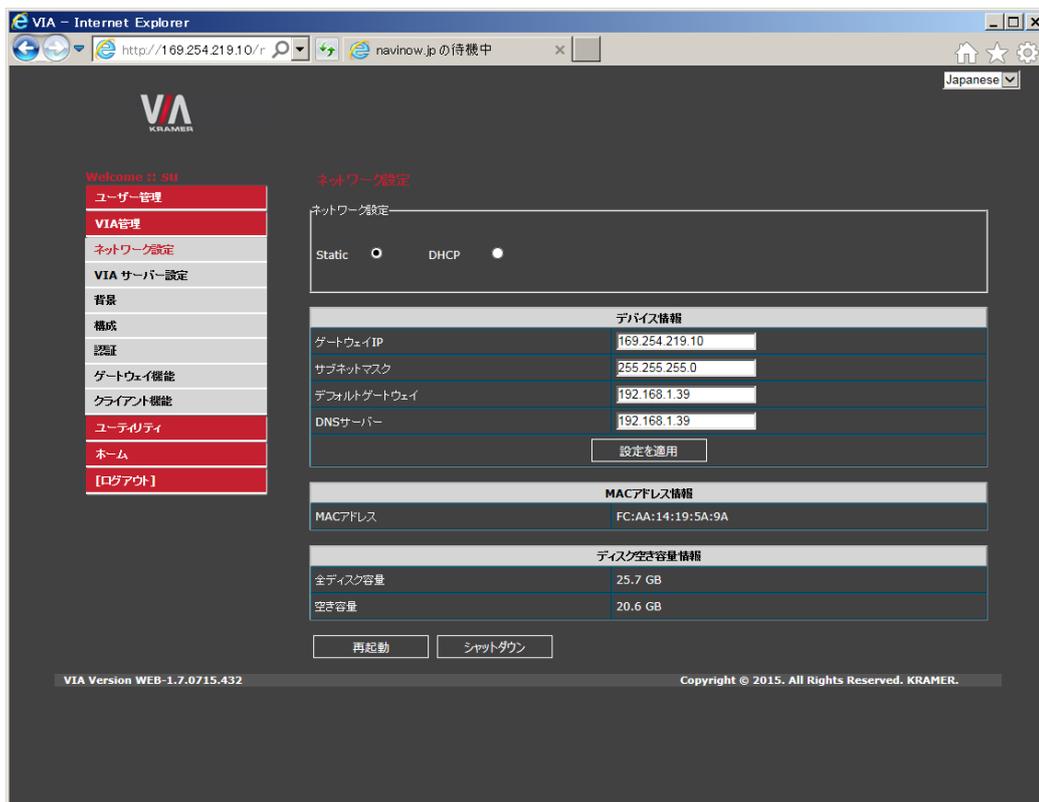


図 31 : VIA 管理 - ネットワーク設定

## 4.7.8.2. サーバー設定

複数の VIA Connect PRO を使用する場合、VIA サイト管理サーバーを使って VIA Connect PRO の設定を同時に行うことができます。詳しくは VIA サイト管理サーバーの取り扱い説明書を参照してください。VIA サイト管理サーバーを使用しない場合は“全てゲートウェイから”をチェックします。

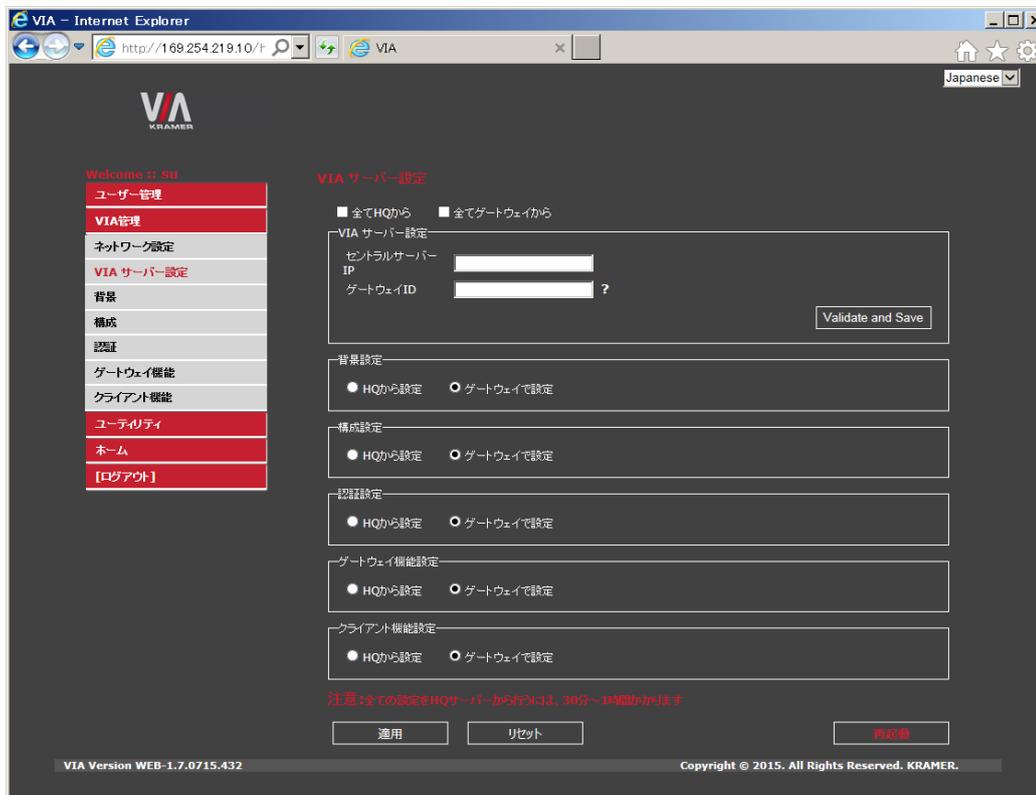


図 32 : VIA 管理 –VIA サーバー設定

## 4.7.8.3. 背景

どのような企業や組織に対しても、ブランドや機器の使用方法に合わせて既定画面を変更できます。壁紙を変更するには：

- ・ [アップロードはここをクリックして]ボタンを押します
  - ・ クライアント端末内の壁紙のイメージファイル(jpeg、png、bmp)を選択します
  - ・ アップロードされたすべての壁紙が図 33 のように表示されますので、1つの壁紙を選択して[設定]ボタンを押します。
  - ・ [再起動]ボタンを押します
- 再起動後、VIA Connect PRO の壁紙イメージが変わります

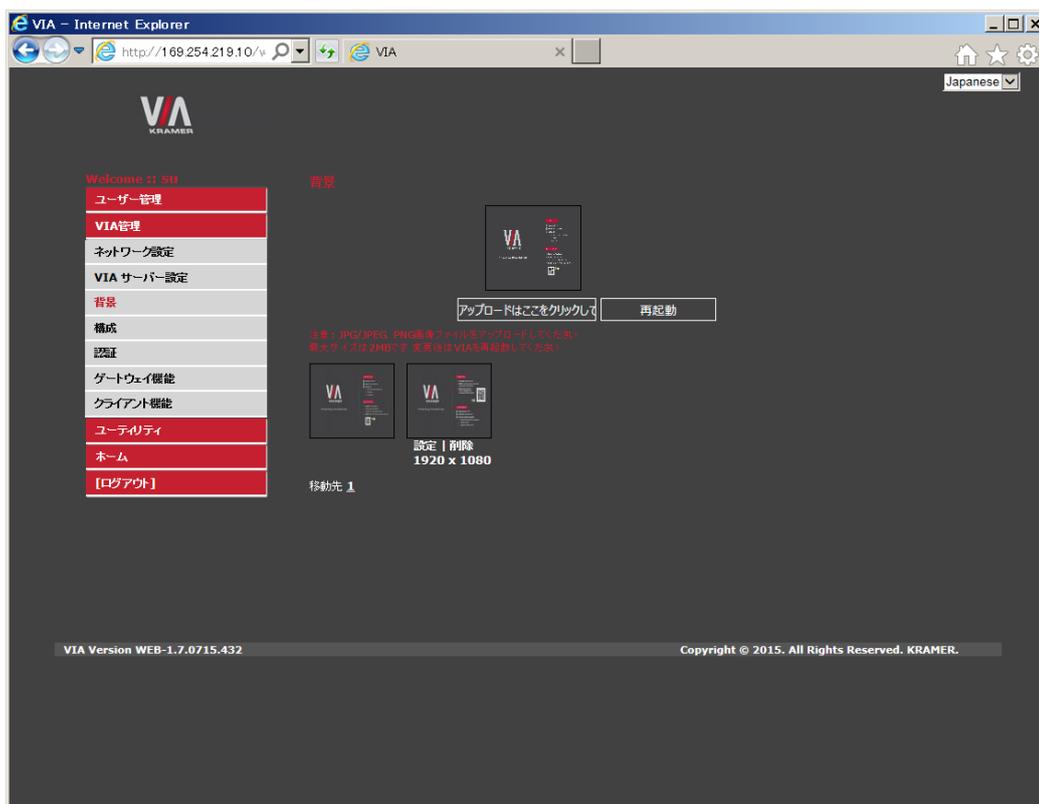


図 33 : VIA 管理 -背景設定

#### 4.7.8.4. 構成

##### 構成設定：

- ・ **システムログを起動する** - VIA Connect PRO の問題調査のために、クライアントまたはゲートウェイによる全てのシステム動作のログ採取を有効にします。
- ・ **Do Not Disturb** - Do Not Disturb(DND)モードを有効にします。DND モードはメインディスプレイでプレゼンテーションしている際に、他のユーザーから割り込みステップインをできないようにします。



DND 有効にしたユーザーは他の参加者へすべての機能を有効にさせるために“DND 有効”アイコンを押して DND 無効にしなければなりません。



- ・ **司会者によるチャットの有効化/無効化機能** - 会議中の参加者同士のチャットを禁止するための機能を司会者に与えます。

### ルームコード、ルーム名設定：

- ・ **ルーム名を表示する** - VIA Connect PRO のホームスクリーンにルーム名(通常は IP アドレス)を表示します。ローカル DND サービスが有効な場合は IP アドレスの代わりにドメイン名を表示することもできます。ルーム名を変更するには[適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットを再起動してください。VIA Connect PRO クライアントにログインするには、ここで設定したルーム名を指定します。
- ・ **ルームコードを有効にする** - ルームコードはセキュリティのために定期的に自動更新される 4 桁のコードです。ルームコードを有効にすると、VIA Connect PRO クライアントにログインする際に、このコードを入力しなければなりません。ルームコードがわからない場合は、ルームコードを入力せずにログインしようとするとう VIA Connect PRO ホームスクリーンの右下にルームコードが表示され確認できます。
- ・ **常に表示する** - ルームコードを有効にした場合、背景にルーム名に続けてルームコードを常に表示することができます。常に表示しない場合は、VIA Connect PRO クライアントからログインしようとした際のみ表示されます。ここでルームコードの定期自動更新の時間間隔を設定します。既定では 30 分となっています。
- ・ **日付時刻を表示する** - VIA Connect PRO ホームスクリーンの右上に日付時刻を表示できます。

注) ルーム名、ルームコード、日付時刻の表示色は変更できます。このメニュー内の色付きの四角ボタン(例：■)を押して好みの色を設定してください。

### iOS ミラー：

- ・ チェックボックスにより iOS ミラーを有効化/無効化できます。
- ・ iOS ミラーを有効化した際、VIA の AirPlay デバイスは VIA\_AirMirror\_XXXX(XXXX はランダムな英数字)と命名されます。この AirPlay デバイス名は、iOS 端末で AirPlay デバイスを探した際に現れるもので、変更もできます。
- ・ デフォルトで 2 台の iOS 端末からのミラー表示ができ、接続台数は変更できます。設定を変更した場合は[適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットを再起動してください。

### オートパワーオフ時間：

- ・ 指定した時間(24 時間制)に自動的に電源を落とすことができます。

### 言語：

- ・ 言語を選択できます。

### WEB インターフェイスの日付時刻表示形式：

- ・ 日付、時刻の表示形式を選択できます。

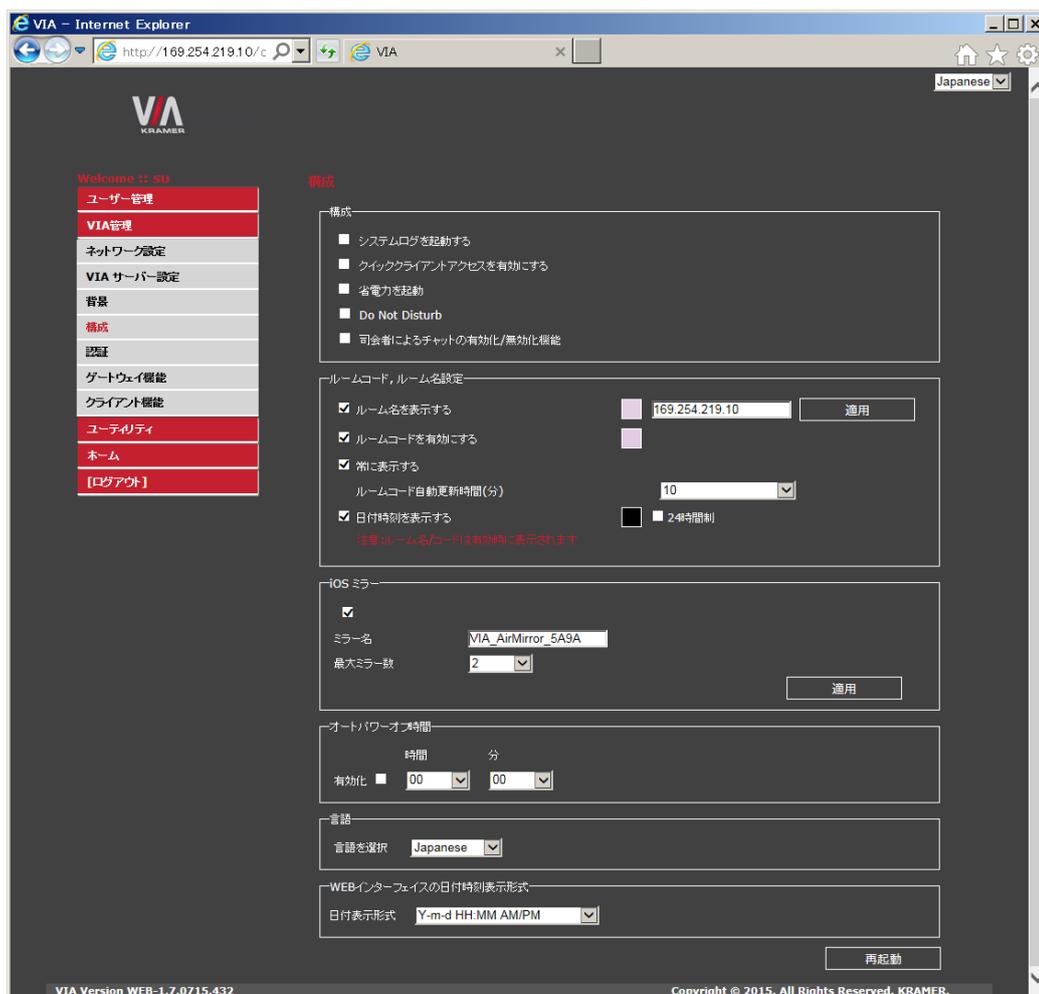


図 34 : VIA 管理 –構成設定

#### 4.7.8.5. 認証

アクティブプレゼンテーションモード(Moderator Mode)を有効化します。設定後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットの再起動してください。

プレゼンテーションモードには3つの認証モードがあります。

- **データベース** - システムにアクセスできるユーザーのデータベースを構築する必要があります。ユーザーはユーザー名、パスワードを与られます。ユーザー管理 > ユーザー追加で司会者権限を付与できます。
- **アクティブディレクトリ** - アクティブディレクトリによりユーザー名、パスワード、役割(司会者、参加者)を管理します。
- **Basic** - VIA Connect PRO へ最初にログインしたユーザーが司会者権限を付与されます。司会者は参加者リスト画面で司会者権限を放棄できます。この時、他のユーザーは参加者リスト画面で司会者権限を取得することができます。

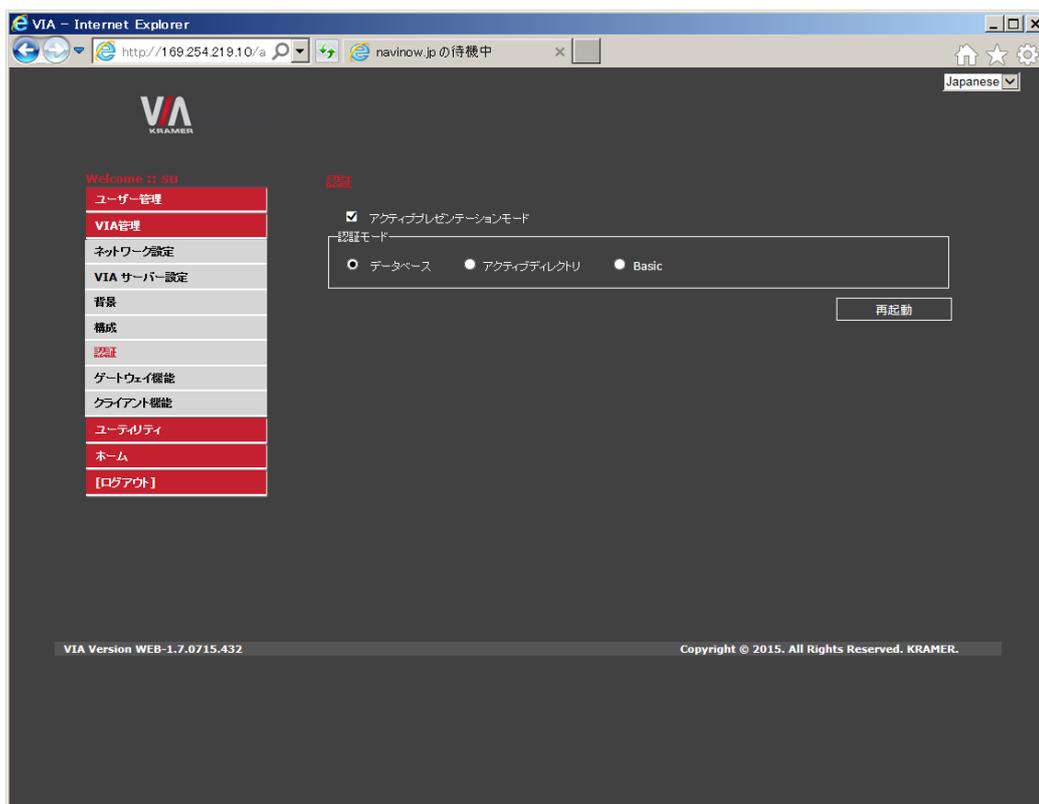


図 35 : VIA 管理 - 認証設定

#### 4.7.8.6. ゲートウェイ機能 / クライアント機能



図 36 : VIA 管理 - ゲートウェイ機能設定



図 37 : VIA 管理 –クライアント機能設定

ゲートウェイ機能、クライアント機能を有効化/無効化できます。

ユーザーに機能を提供したくない場合、機能アイコン右上の⊗をクリックします。無効化した機能は隠されますが削除はされません。

機能アイコンをドラッグすることで、並びを変更することができます。

変更した場合は[適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットを再起動してください。

#### 4.7.8.7. ゲートウェイログ / Web 管理者ログ

ゲートウェイログはユーザーがゲートウェイに対して行った操作ログを表示します。ログは開始月日、終了月日、ユーザー名で絞り込み検索できます。結果は PDF または CSV でエクスポートできます。

Web 管理者ログは管理者がゲートウェイに対して行った操作ログを表示します。ログは開始月日、終了月日、ユーザー名、操作で絞り込み検索できます。結果は PDF または CSV でエクスポートできます。

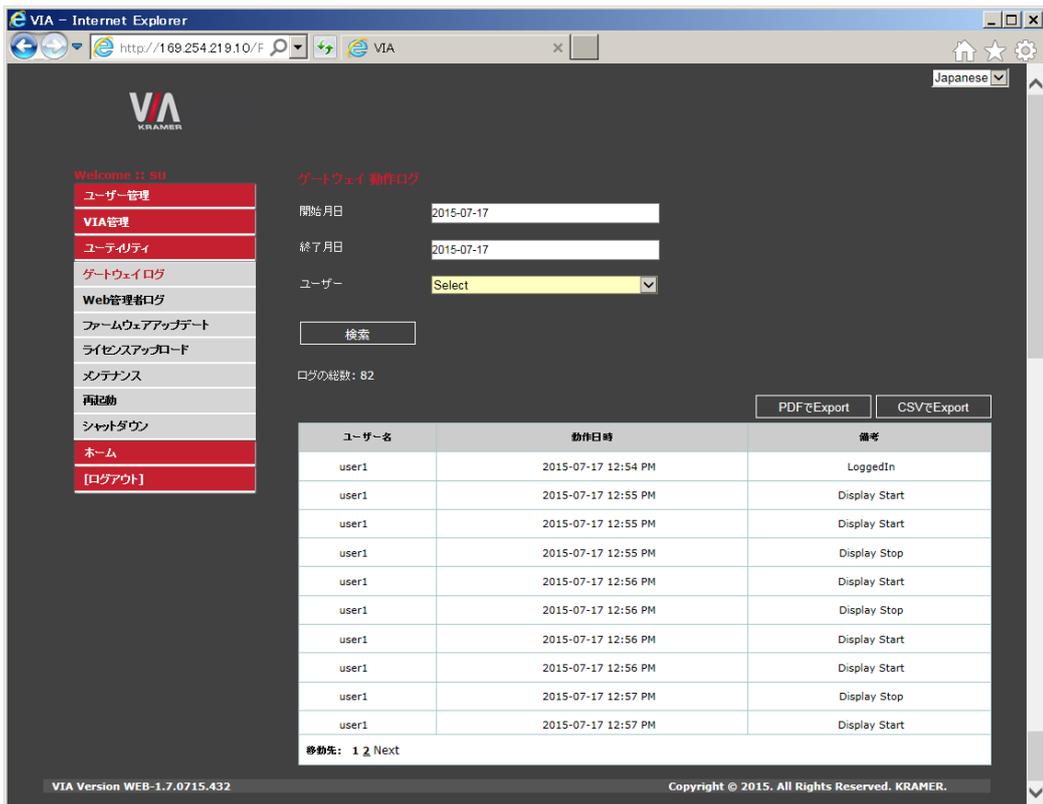


図 38 : ユーティリティ - ゲートウェイログ

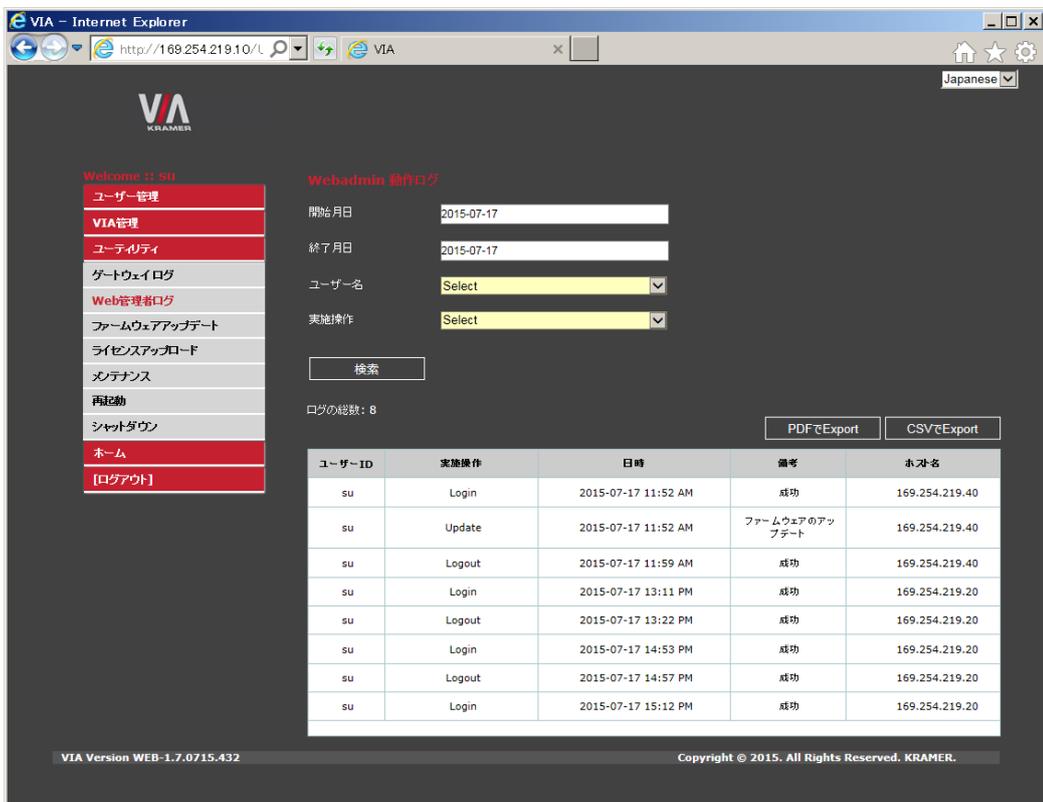


図 39 : ユーティリティ - Web 管理者ログ

#### 4.7.8.8. メンテナンス

各種設定を規定値に戻します。

変更した場合は[適用]ボタンを押した後、[再起動]ボタンを押して VIA Connect PRO ユニットを再起動してください。

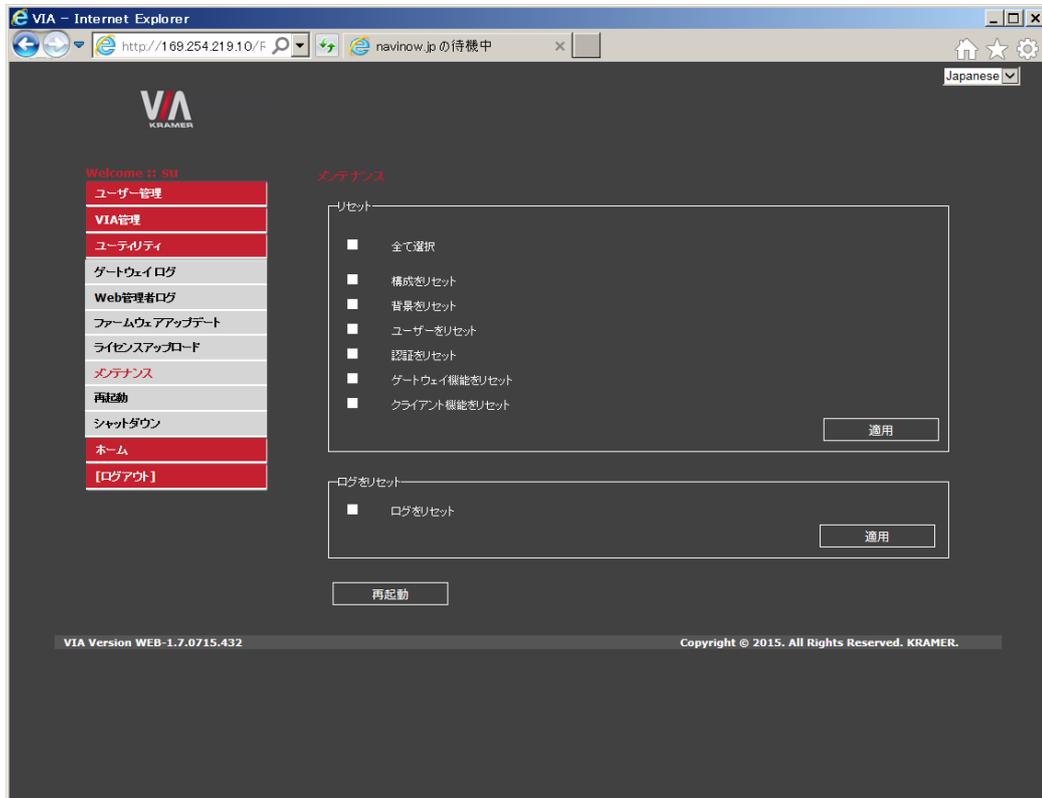


図 40 : ユーティリティ - メンテナンス

## 4.8 VIA Connect PRO を使うとこんなことができます

VIA Connect PRO は会議において高度な共同作業環境を提供します。会議参加者はファイル共有、チャット、共有ファイル編集やフル HD(1080p/60)ビデオ配信を行うことができます。

	<b>Wireless Connection</b> 参加者は自身の機器 BYOD(Bring Your Own Device)でワイヤレス接続で会議に参加します。ドングルは不要です。		<b>Whiteboard</b> メインディスプレイの表示上で共同で注釈、作画、レビューのほか、表示を強調できます
	<b>MultiMedia</b> スムーズなフルモーションビデオ(1080P/60 まで)、MP3 ファイル、および静止画を共有します。		<b>Start Collaboration</b> 複数ユーザーが各端末からメインディスプレイ上で共同作業ができます
	<b>Cloud</b> 端末のファイルをクラウドアイコンへドラッグ&ドロップすることで、会議参加者全員と簡単にファイル共有できます		<b>Enable Control</b> メインディスプレイへ表示した端末のデスクトップ画面から、その端末(Windows PC、Mac)の制御を会議参加者へ与えることができます
	<b>File Transfer</b> 端末のファイルを指定の会参加者へ送付し共有できます		<b>Chat</b> 会議参加者へチャットメッセージを送ることができます

コラボレーション機能は下記のポピュラーなクラウドサービスの追加により強化されました。

- ・ Google Drive 
- ・ DropBox 
- ・ SkyDrive 

クラウドサービス(Google Drive、DropBox、SkyDrive)アカウントを VIA アプリケーションとリンクすることで、オンラインドキュメントへのアクセスができます。

クラウドサービスから1つのファイルを選択し、以下のオプションを選択します。

- ・ オープン - オンラインドキュメントをクライアント端末で開き、メインディスプレイに共有するために"ステップイン"を選択します
- ・ ダウンロード - VIA マルチメディア機能から容易にアクセスするためにオンラインファイルのコピーを作成します
- ・ 共有 - メールサービスを使って選択したファイルを共有します

また、VIA マルチメディア機能(写真、文書、ビデオ)に保存された1つのファイルを選択し、クラウドサービスへアップロードすることもできます。

注) 端末種別によって機能が異なります。以降の図を参照してください。

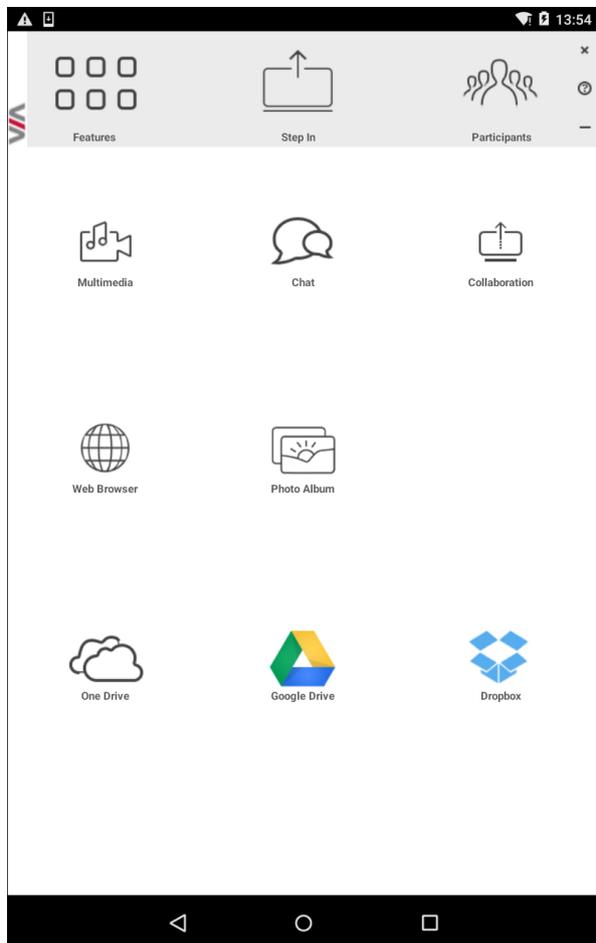


図 41 : Android Tablet

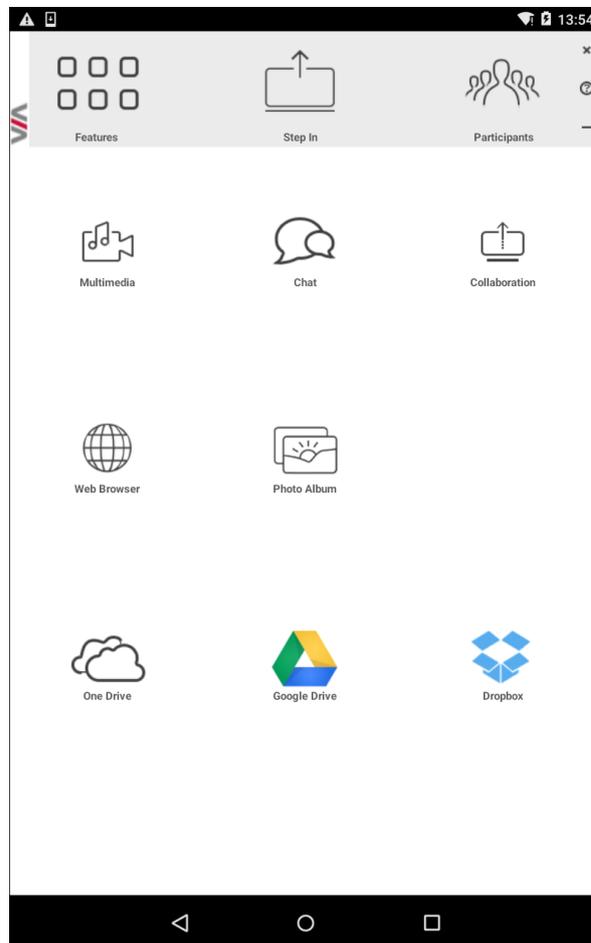


図 42 : iPad/iPhone

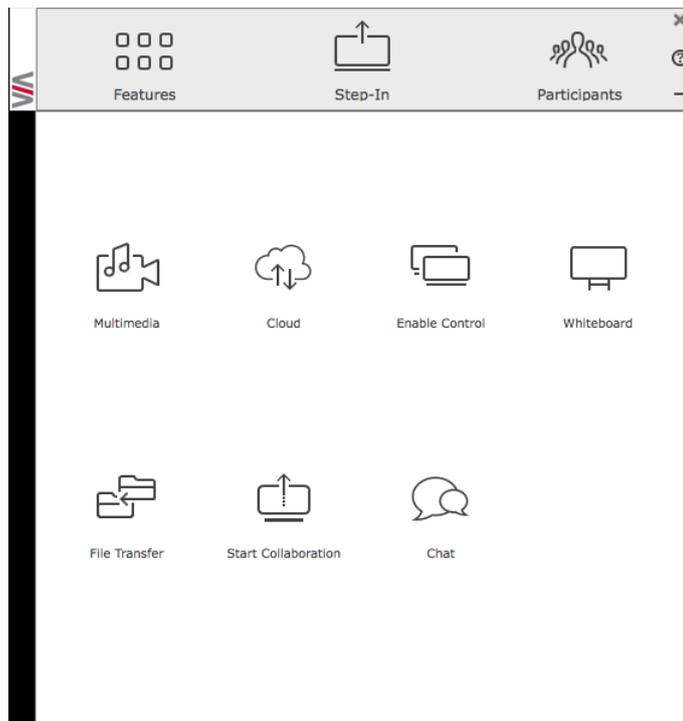


図 43 : PC(Windows/Mac)

## 5 技術仕様

入力	4 USB 3.0、1 LAN RJ-45 コネクタ
グラフィック出力	1 HDMI、1 ミニディスプレイポート
音声出力	1 ステレオヘッドフォン 3.5mm ミニジャック
プロセッサ	4th generation Intel® Dual core 1.4GHz
メインメモリ	4 GB SO-DIMM DDL3L
ストレージ	32GB SSD
LAN	Gigabit LAN
オーディオ	アナログ又はエンベデット HDMI, S/PDIF Realtek ALC269
電源供給	65W AC アダプタ (19V DC 3.4A)
入力電圧	100V AC、50/60Hz
動作温度	0 °~+40℃
保存温度	-40°~+70℃
湿度	10%~90% (結露のないこと)
外形寸法	11.8cm x 11.5cm x 4.0cm (幅 x 奥行き x 高さ)
質量	0.475Kg
付属品	電源コード、AC アダプタ、ミニ DP to HD15 ピン変換ケーブル、VESA マウントブラケット
仕様は予告なく変更する場合があります。 <a href="http://www.kramerelectronics.com">http://www.kramerelectronics.com</a>	

## LIMITED WARRANTY

The warranty obligations of Kramer Electronics for this product are limited to the terms set forth below:

### What is Covered

This limited warranty covers defects in materials and workmanship in this product.

### What is Not Covered

This limited warranty does not cover any damage, deterioration or malfunction resulting from any alteration, modification, improper or unreasonable use or maintenance, misuse, abuse, accident, neglect, exposure to excess moisture, fire, improper packing and shipping (such claims must be presented to the carrier), lightning, power surges, or other acts of nature. This limited warranty does not cover any damage, deterioration or malfunction resulting from the installation or removal of this product from any installation, any unauthorized tampering with this product, any repairs attempted by anyone unauthorized by Kramer Electronics to make such repairs, or any other cause which does not relate directly to a defect in materials and/or workmanship of this product. This limited warranty does not cover cartons, equipment enclosures, cables or accessories used in conjunction with this product.

Without limiting any other exclusion herein, Kramer Electronics does not warrant that the product covered hereby, including, without limitation, the technology and/or integrated circuit(s) included in the product, will not become obsolete or that such items are or will remain compatible with any other product or technology with which the product may be used.

### How Long Does this Coverage Last

Seven years as of this printing; please check our Web site for the most current and accurate warranty information.

### Who is Covered

Only the original purchaser of this product is covered under this limited warranty. This limited warranty is not transferable to subsequent purchasers or owners of this product.

### What Kramer Electronics will do

Kramer Electronics will, at its sole option, provide one of the following three remedies to whatever extent it shall deem necessary to satisfy a proper claim under this limited warranty:

1. Elect to repair or facilitate the repair of any defective parts within a reasonable period of time, free of any charge for the necessary parts and labor to complete the repair and restore this product to its proper operating condition. Kramer Electronics will also pay the shipping costs necessary to return this product once the repair is complete.
2. Replace this product with a direct replacement or with a similar product deemed by Kramer Electronics to perform substantially the same function as the original product.
3. Issue a refund of the original purchase price less depreciation to be determined based on the age of the product at the time remedy is sought under this limited warranty.

### What Kramer Electronics will not do Under This Limited Warranty

If this product is returned to Kramer Electronics or the authorized dealer from which it was purchased or any other party authorized to repair Kramer Electronics products, this product must be insured during shipment, with the insurance and shipping charges prepaid by you. If this product is returned uninsured, you assume all risks of loss or damage during shipment. Kramer Electronics will not be responsible for any costs related to the removal or re-installation of this product from or into any installation. Kramer Electronics will not be responsible for any costs related to any setting up this product, any adjustment of user controls or any programming required for a specific installation of this product.

### How to Obtain a Remedy under this Limited Warranty

To obtain a remedy under this limited warranty, you must contact either the authorized Kramer Electronics reseller from whom you purchased this product or the Kramer Electronics office nearest you. For a list of authorized Kramer Electronics resellers and/or Kramer Electronics authorized service providers, please visit our web site at [www.kramerelectronics.com](http://www.kramerelectronics.com) or contact the Kramer Electronics office nearest you.

In order to pursue any remedy under this limited warranty, you must possess an original, dated receipt as proof of purchase from an authorized Kramer Electronics reseller. If this product is returned under this limited warranty, a return authorization number, obtained from Kramer Electronics, will be required. You may also be directed to an authorized reseller or a person authorized by Kramer Electronics to repair the product.

If it is decided that this product should be returned directly to Kramer Electronics, this product should be properly packed, preferably in the original carton, for shipping. Cartons not bearing a return authorization number will be refused.

### Limitation on Liability

THE MAXIMUM LIABILITY OF KRAMER ELECTRONICS UNDER THIS LIMITED WARRANTY SHALL NOT EXCEED THE ACTUAL PURCHASE PRICE PAID FOR THE PRODUCT. TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, KRAMER ELECTRONICS IS NOT RESPONSIBLE FOR DIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM ANY BREACH OF WARRANTY OR CONDITION, OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY. Some countries, districts or states do not allow the exclusion or limitation of relief, special, incidental, consequential or indirect damages, or the limitation of liability to specified amounts, so the above limitations or exclusions may not apply to you.

### Exclusive Remedy

TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, THIS LIMITED WARRANTY AND THE REMEDIES SET FORTH ABOVE ARE EXCLUSIVE AND IN LIEU OF ALL OTHER WARRANTIES, REMEDIES AND CONDITIONS, WHETHER ORAL OR WRITTEN, EXPRESS OR IMPLIED. TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, KRAMER ELECTRONICS SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY AND ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IF KRAMER ELECTRONICS CANNOT LAWFULLY DISCLAIM OR EXCLUDE IMPLIED WARRANTIES UNDER APPLICABLE LAW, THEN ALL IMPLIED WARRANTIES COVERING THIS PRODUCT, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, SHALL APPLY TO THIS PRODUCT AS PROVIDED UNDER APPLICABLE LAW.

IF ANY PRODUCT TO WHICH THIS LIMITED WARRANTY APPLIES IS A "CONSUMER PRODUCT" UNDER THE MAGNUSON-MOSS WARRANTY ACT (15 U.S.C.A. §2301, ET SEQ.) OR OTHER APPLICABLE LAW, THE FOREGOING DISCLAIMER OF IMPLIED WARRANTIES SHALL NOT APPLY TO YOU, AND ALL IMPLIED WARRANTIES ON THIS PRODUCT, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR THE PARTICULAR PURPOSE, SHALL APPLY AS PROVIDED UNDER APPLICABLE LAW.

### Other Conditions

This limited warranty gives you specific legal rights, and you may have other rights which vary from country to country or state to state.

This limited warranty is void if (i) the label bearing the serial number of this product has been removed or defaced, (ii) the product is not distributed by Kramer Electronics or (iii) this product is not purchased from an authorized Kramer Electronics reseller. If you are unsure whether a reseller is an authorized Kramer Electronics reseller, please visit our Web site at [www.kramerelectronics.com](http://www.kramerelectronics.com) or contact a Kramer Electronics office from the list at the end of this document.

Your rights under this limited warranty are not diminished if you do not complete and return the product registration form or complete and submit the online product registration form. Kramer Electronics thanks you for purchasing a Kramer Electronics product. We hope it will give you years of satisfaction.